



東北大会での優勝を決め、スタンド前に駆けだす八学光星ナイン
=18日、秋田市こまちスタジアム

光星東北王者 確センバツ

第71回秋季東北地区高校野球大会最終日は18日、秋田市のこまちスタジアムで決勝を行い、青森第1代表の八学光星が盛岡大付(岩手第1)を5-3で下し、

5年ぶり5度目の頂点に輝いた。来年3月に開催する第91回選抜高校野球大会は、一般選考で東北地区から2校が選ばれるため、光星は3年ぶり10度目の出場がほぼ確実となったほか、5年ぶり4度目となる明治神宮大会への出場も決めた。

【詳報13頁、関連記事22次】

光星は初回、武岡龍世の2点本塁打で先制。その裏に同点に追い付かれたが、七回に敵失を誘って2点を加えて勝ち越し、九回には武岡の適時三塁打でさらに

1点を加えてリードを広げた。投げては山田怜卓、横山海夏凪、後藤丈海の3投手が継投し、盛岡大付の反撃を3点に抑えた。

明治神宮大会は11月9、13日に東京の明治神宮球場で開催。各地区大会優勝の10校が出場し、秋の日本一を懸けてしのぎを削る。

(里村静)